

パロマカップ2019 第34回日本クラブユースサッカー選手権(U15)大会岐阜県大会 要綱

主 催 (財)日本サッカー協会
(財)岐阜県サッカー協会

主 管 岐阜県クラブユースサッカー連盟(U-15)

後 援 岐阜県

特別協賛 株式会社パロマ

期 日 4月20日～5月18日の土曜日曜祝日

会 場 岐阜県内グランド

- 参加資格
1. (財)日本サッカー協会第3種かつ日本クラブユースサッカー連盟(U-15)に登録された選手・チームであること。
 2. 他のクラブチームおよび中学校サッカーチームに二重登録された選手でないこと。
 3. 2004年4月2日以降の出生者を対象とする。
 4. 大会期間中に参加資格のないものを出場させると厳罰の可能性はある。
 5. 大会期間中に選手が移籍、退会などで選手不足になった場合には速やかに競技委員長に連絡する。
 6. 大会参加費(10,000円)を、必ず4/15の9時～15時に振り込むこと
また決勝トーナメント進出したチームは更に参加費(10,000円)を、5/7の9時～15時に振り込むこと
【十六銀行 西可児支店 1465708 岐阜県クラブユース連盟 野村次郎】

- 表彰
1. 優勝チームには優勝杯(岐阜県クラブユースサッカー連盟杯)を授与し、次回までこれを保持せしめる。

- 競技方法
- ・予選リーグ
 - ・試合時間は70分(35-10-35)とし、同点の場合は**即PK戦**とする。
 - ・順位は勝点が多いチームを上位とし、同勝点の場合、当該チーム対戦成績→全試合の得失点差→総得点の多いチーム→PK戦の結果を上位とする。
 - ・3チーム以上のチームが勝点と同じ場合は、当該チーム間の対戦成績(勝点→得失点差→総得点)→全試合の得失点差、総得点、PK戦の勝点→PK戦のゴール数の順で決定
それでも決まらない場合は抽選(もしくは再試合)で決定する
 - ・決勝トーナメント
 - ・試合時間は70分(35-10-35)とし、同点の場合は**即PK戦**とする。
 - ・東海地域大会には上位5チームが出場する。

- 競技規則
1. ルールは日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2018/2019」による。
 2. 大会登録人数は30名とし、大会期間中のメンバー変更はできない。
 3. 試合開始60分前までにメンバー表の先発選手に○を付け、大会本部に提出する。
 4. 先発選手は試合開始の5分前までに大会本部前に集合し、審判のチェックを受ける。
 5. 交替

- ・交替は残りの登録選手の中から19名とし、交替して退いた選手の再出場はできない。
- ・交替選手は交代用紙を必要としない。

6. 警告・退場
 - ・大会期間中、警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。
 - ・退場を命じられた選手は次の1試合に出場できない。なお退場の理由によりその選手の処分を規律委員会で決定する。
 - ・予選リーグ→決勝トーナメントへの警告の持ち越しはしない。
 - ・最終戦で警告を受けて、累積2枚になった場合には次大会の出場停止はない。
 - ・最終戦で退場処分となった場合には最低でも次大会の第1試合を出場できない。

7. ボールはU15リーグ使用球を準備すること

8. ユニフォーム
 - ・色の異なる正副の2種類用意する。(GKを含め4色になり、4色の見分けがつく色とする)
GKを含めて同系色(オレンジと赤、黄色とオレンジ、エッジと赤、エッジとオレンジなど)は相応しくない
 - ・ユニフォームの番号は1～99番とする。背番号は毎試合変更してもいい。
 - ・胸にチームのマークを、背番号、胸番号を必ずつけること。(腰番号があれば望ましい)
 - ・色と番号はメンバー表と一致し、パンツの番号があればウェアの番号と同じであること。
 - ・ウェア、パンツ、ソックスの種類が選手全員同じであること。
 - ・ユニフォームチェックは実施しない。競技委員長から指定されたユニフォームを着用すること。
しかし相手チームがユニフォームを忘れることも考えて両方のユニフォームを持参すること。
 - ・サポーターの色は何色でも可。

- ・アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じでなければならない。アンダーショーツ及びタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾の部分と同じ色でなければならない。
同一チームの競技者が着用する場合、同色のものとする。

- ・GKがケガしてFPがGKを務めないといけないう場合には背番号の変更を認める ※事務局へ連絡→試合中、試合前問わずに上記を適用する。また出場停止でGKが出れない場合もそのGKシャツを利用す

- ために番号が変更になることを認める。試合前に番号が変わる場合にはメンバー表に理由を明記のこと
9. チームが棄権の場合は、次の大会に参加を認めない可能性があり、役員会で検討する。
 10. 試合は雨天決行とするが、暴風・大雨・洪水警報が発令された場合は、その日の第1試合の3時間前までに決定する。問合せ先は会場責任者とする。
 11. 雷や豪雨で途中で試合が中止になった場合には、試合の残り時間を後日実施する。両チームの合意があれば途中での試合結果を最終結果とすることはできる。

審判

1. ユース審判
 - ・中学3年生は認めるが、主審はできない
 - ・高校生は認めるが、3級でないと主審を務めることはできない
2. 2017年度以降に加入したクラブは、3級を1名以上手配すること(派遣時審判も含む)
3. 4人の審判団で、資格最上級者が主審を務めること
2級資格取得のための研修であれば下級資格者の主審も認める
4. 決勝トーナメントはどのクラブも必ず1名は3級以上の審判を出すこと
5. 決勝トーナメント2回戦以降はクラブ連盟より審判派遣される試合がある

会場開始

責任チーム

1. 大会本部を設置する(テント、イス、机)
2. コーナーフラッグ、副審フラッグ、空気圧計、試合結果報告書、審判報告書、**重要事項報告書**を用意する
3. ラインを綺麗に引く
4. 開始責任と終了責任チームは連絡し、会場に上記2とラインカーと石灰が常にある状態を保つ
5. 1日3試合の場合には開始責任が2試合目まで、1日4試合目までは開始責任が2試合目まで
1日5試合の場合は開始責任が3試合目まで開始責任が担当する

選手証

1. 選手証の確認はすべての試合前に必ず実施すること
2. 日本サッカー協会から選手証が届いてない時は、チーム、選手登録の申請した書類をプリントアウトして試合に持参すること。(その場合は写真はなくても構わない)

その他

1. 選手はスポーツ安全保険に必ず加入していること。
2. 選手の治療は各チームで責任を持って行なうこと。
3. ベンチは組み合わせの左側(上側)のチームが、コートに向かって左側のベンチを使用する。
4. 会場終了責任チームは最終試合終了60分以内に東海クラブ連盟のホームページに結果入力する
全試合の審判報告書+重要事項のある重要報告書を審判委員長までLINEすること
LINEID yusukemochizuki
5. 選手証は審判チェックしやすいように、背番号順に並べること。
6. 学校行事による日程変更は認められない。※各クラブで学校に公欠依頼すること
7. コートサイズは縦100～105m×横65～68mであること。またマウンドは入っていけない。